

資料 2

令和 4 年度第 3 回
川崎市上下水道事業
経営審議委員会

工業用水道事業部会における 諮問事項の検討経過

川崎市上下水道局

Kawasaki City Waterworks Bureau

- 諮問事項は、「**施設更新のあり方**」と「**料金制度のあり方**」

諮問の背景

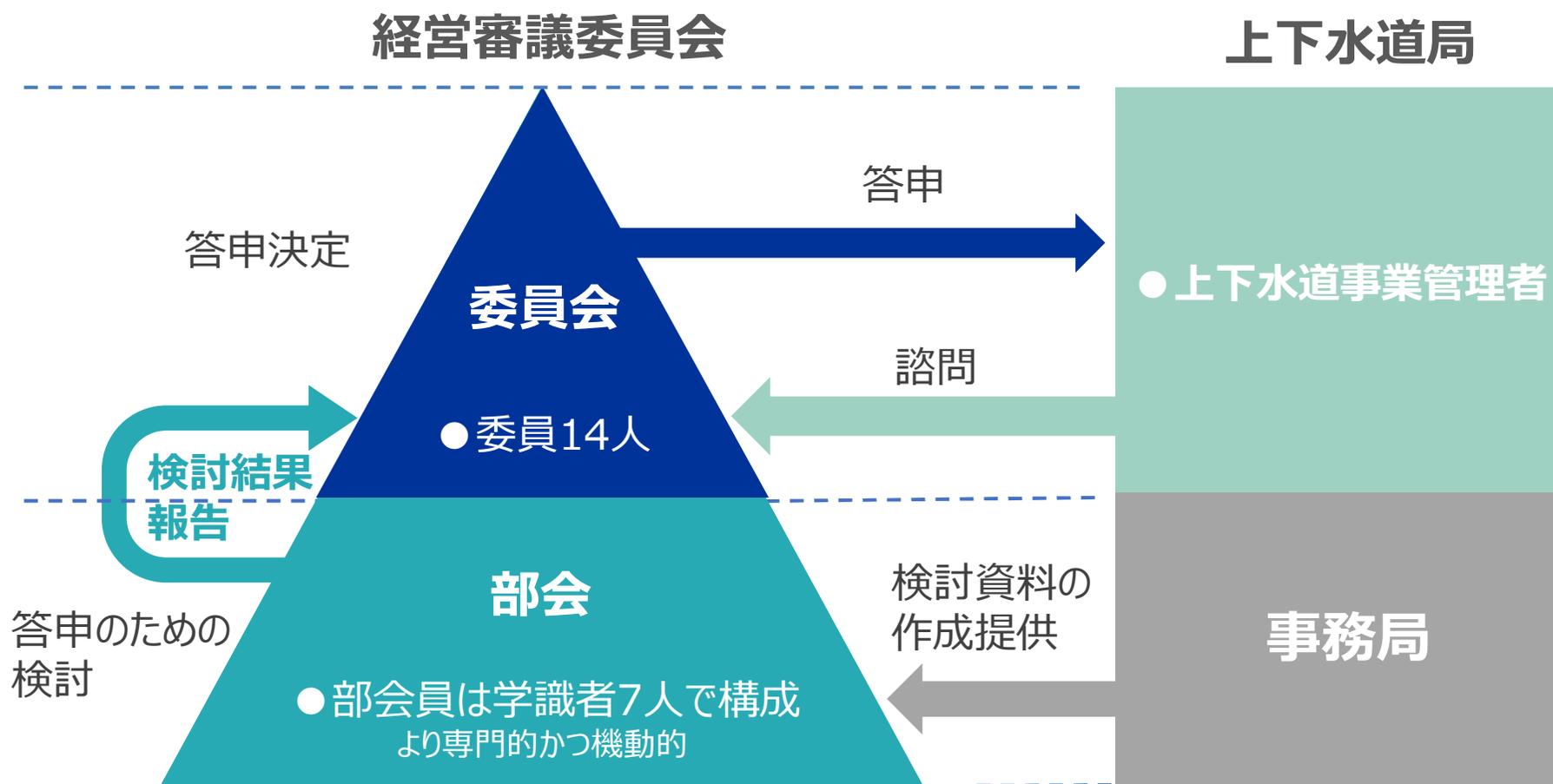
- ① 多くの施設が老朽化し、計画的な施設更新が必要な状況
- ② 脱炭素社会への転換などにより工業用水の需要が更に減少
- ③ 責任消費水量制などの料金制度の見直しについての要望

こうした状況において

効率的かつ効果的な取組により、
安定的な水の供給を継続していくとともに、
健全な事業運営を実施していくため、
多角的な視点での意見が必要

諮問事項の検討体制

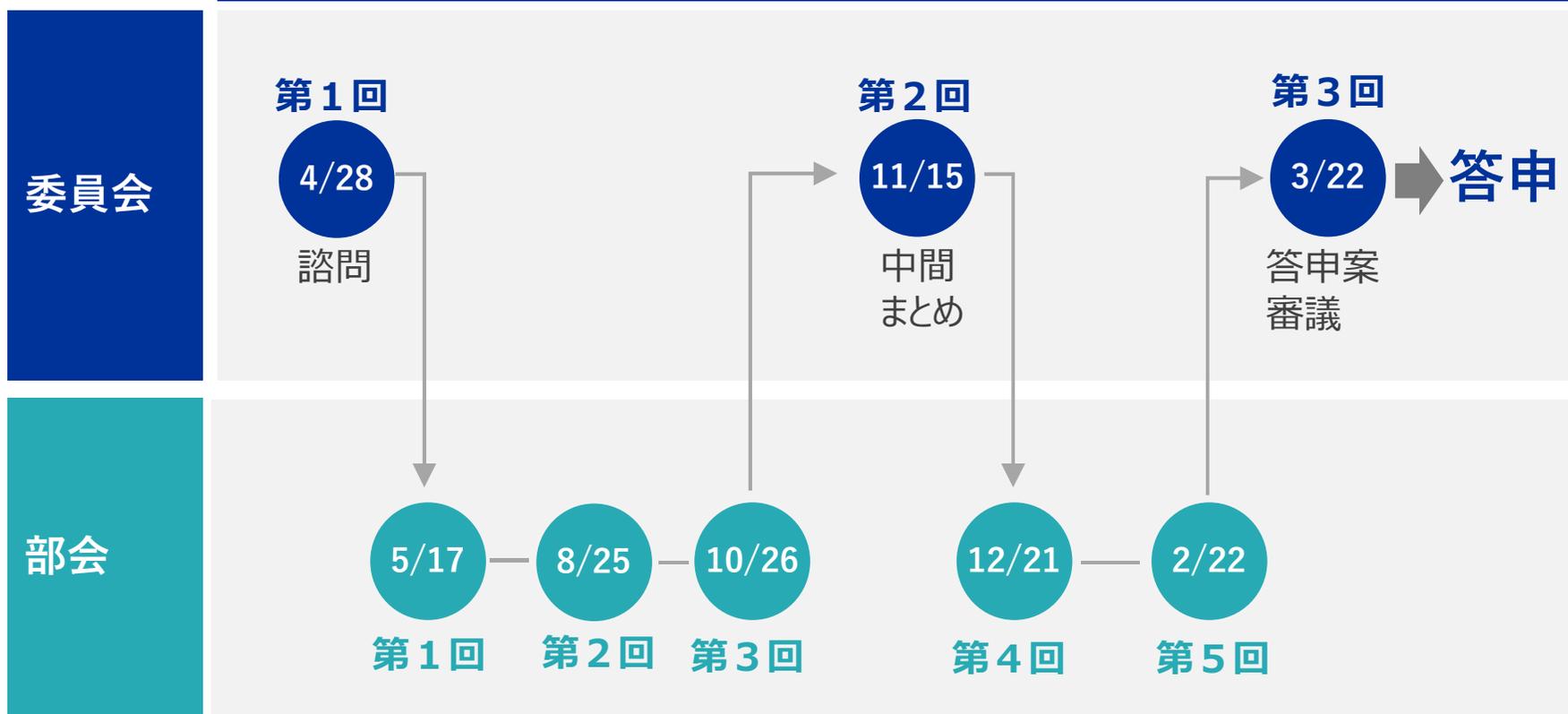
- 検討は、委員会の下部に学識者で構成する工業用水道部会を設置し、より専門的かつ機動的な体制を進めた。



部会での検討経過

- 部会を5回開催し、各種検討を踏まえ答申案を作成した。
- 本日は部会で作成した答申案を審議し、
後日、委員長から上下水道事業管理者へ答申を行う。

令和4年度中



- 11月開催の第2回委員会では、施設更新のあり方について次のような意見等があった。

諮問事項①：施設更新のあり方（抜粋）

- 施設更新のパターンについては、利用者の方々から様々な意見をいただき、**非常に関心がある内容**だと思うので、丁寧に進めていただきたい。
- 先人の築いたインフラを大切に維持することは大事だと思うが、今年の5月に愛知県で発生した工業用水の給水トラブルで教訓を得たように、インフラクライシスを起こさない維持管理、更新の大切さを実感した。最適な方法とスピード感を持って、**コストに負担のない老朽化更新実施方針**を期待したい。
- 企業を取り巻く環境の変化は予想以上に大きいため、未来を見据えたときに**環境変化は更に大きくなっている**と考えて、ある程度未来で想定可能な部分についてはしっかりと織り込んでいく必要がある。

- 11月開催の第2回委員会では、料金制度のあり方について次のような意見等があった。

諮問事項②：料金制度のあり方（抜粋）

- 「料金制度のあり方」の一案として「責任消費水量制」について制度の見直し等も検討いただいていると認識している。昨年の調査において「負担金制度の導入」について説明をいただき、早期のコストダウンにつながる具体的施策として期待するが、導入の可否を検討する上でも可能な限り早期にユーザー企業毎の具体的想定金額を提示いただきたい。なお、**金額次第では、経済活動を行う企業としては簡単に受容できない**ため、配慮をお願いしたい。
- 企業を取り巻く環境は大きく変わってきており、**従来のやり方では、どこまでいっても平行線**を辿る様感じた。
- 水源開発を含め、いろいろな経緯が水道にも工業用水道にもあるが、**過去からの延長で考えていると限界がある**かもしれない。

- これまでの部会では、施設更新のあり方について、次のような意見等があった。

諮問事項①：施設更新のあり方（抜粋）

- 評価の項目に「柔軟」があるが、実はこれが重要だと思う。途中で計画を変更できないことは多々あるが、これからのインフラ整備では、メンテナンス等を含め様々な問題がある。その中で「柔軟」ということをあえて打ち出しているのはすごく大きなポイントだと思う。民間企業には戦略的投資といった考え方があるが、公営企業は民間企業とは異なるため、攻めと守りのバランスを保ちながらも、どちらかというとな守りが大事になる。そこに柔軟性という観点を加えたことで、攻めと守りのどちらにも対応できるかという面を評価することができる。これが無ければ、どの施設更新案を採用するか決めかねると思われるので、重要な項目だと思う。

- これまでの部会では、料金制度のあり方について、次のような意見等があった。

諮問事項②：料金制度のあり方（抜粋）

- 料金体系を工夫していくということはもちろんであるが、革新的な技術を使ってコスト自体を下げるような経営努力を考えていかなければならない。
- 料金制度の改定の目的は安定したベース収益の獲保であり、そのためには企業の実態に合った納得性のある料金制度が重要だと思う。新規利用者が参入しやすいようにしたり、既存利用者が料金を高いことを理由に流出してしまわないようにしたりすることで、アナウンスメント効果が表れるのではないか。
- 何のために料金制度を変えるか、目指すゴールを掲げて、そのゴールに基づき評価することが効果的である。
- 利用者との話し合いでは、コンセンサスの取り方がとても重要である。料金の見直しの背景と利用者に対して配慮した部分の十分な説明があれば、ある程度は納得していただけるのではないか。

川崎市上下水道局

Kawasaki City Waterworks Bureau